

日本生殖看護学会 ニュースレター

No.
69

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目 次

・新理事長挨拶	1
・新理事の紹介	2
・第22回 日本生殖看護学会学術集会 報告	3
・第22回 日本生殖看護学会学術集会演題発表優秀賞を受賞して	3
・2024(令和6)年度日本生殖看護学会総会議事録	4
・2024年度・2025年度 日本生殖看護学会 収支予算書	5
・新しくなった学会誌に投稿しよう!	5
・これから行われる学術集会・研修会情報(2024年11月～2025年2月)	6
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿No.26	6
・第14回 生殖看護関西地区実践セミナー報告	7
・理事会報告	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数MAP	8
・原稿を募集しています!	8
・編集後記	8

新理事長挨拶

理事長 坂上明子



2018年から2期にわたり理事長を務められました上澤悦子氏に代わり、第8期の理事長を拝命致しました坂上明子でございます。力不足ではございますが、上澤新副理事長、新理事・監事と共に、学会活動をより発展させていくため尽力して参りたいと存じます。

本学会は、昨年20周年を迎えました。長年の活動に奮闘してくださいました、歴代理事長、役員、そして会員の皆様に深く感謝申し上げます。養成休止の状態が続いていた生殖看護認定看護師の養成が2024年4月より再開され、今後、生殖看護のさらなる発展が期待されております。一方、2024年11月1日現在、会員は320名と横ばいの状態が続いています。特に若い世代の皆様、会員として一緒に活動していただけるよう、以下の目標を掲げ、魅力ある学会活動を増やしてい

きたいと考えております。是非、会員の皆様からもご要望をお寄せください。

目標1. 生殖看護のコンピテンシーと質の高い看護実践の確立を目指す

2025年度より生殖看護の実践に関するオンライン学習支援システムを構築していきます。また、認定看護師に求められる役割を明確化し、学術集会やHP等を通じて発信したり、認定看護師の活動評価をするための方法を検討し、より質の高い生殖看護の実践を支援していきたいと考えております。

目標2. 学会活動を見直し、会員間の情報共有や活動・研究における連携の促進、質の高い実践活動が推進されるように活動の充実をはかる

JSFNメール(会員一斉メール)等を使って、会員に有益な情報をいち早く提供し、2024年度から学会誌やニュースレターを電子化します。また、学術集会やセミナー等を活用し、会員間の交流の機会を増やしていきます。2026年度以降はオンライン学習支援システムの内容を研究にも拡大していく予定です。

目標3. 関連職種・関連学会との具体的な連携をはかる

関連する医学系・看護系学会やNPO法人等との連携を密にしていきたいと考えております。2025年度は学術集会の一部を日本IVF学会学術集会との共催にする予定です。

治療中のケアだけでなく、プレコンセプションケア、治療後妊娠～育児期のケア、がん生殖のケア、LGBTQカップルへの支援等、社会が求めている生殖看護の役割は多岐にわたっております。当事者の方々の声を大切にし、関連職種と協働して生殖看護の発展に努めていきたいと思っております。皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

新理事の紹介

副理事長、教育推進委員



上澤 悦子氏

今年より、副理事長と教育推進委員を拝命しました。これからの生殖看護が実践すべきことを明確にするために、理事長を支援し、教育推進委員として崎山理事と共に会員の皆様のニーズに添った教育セミナーの企画・運営に努めていきます。

会 計



清水 清美氏

会計を担当します清水です。公正・適正な予算執行を確保し、皆様にわかりやすい報告を心掛けたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

将来検討委員



林 はるみ氏

今年度より将来検討委員を拝命しました。学会の将来構想を検討するとともに、研究助成の運営や研究推進、国内外の情報発信に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

教育推進委員



崎山 貴代氏

今年より教育推進委員を担当します。会員の皆様の実践能力に貢献できるセミナー等の企画運営、会員企画の勉強会支援を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員



西岡 有可氏

今年より広報委員を担当いたします。学会の活動をより多くの方々に知っていただき、広報活動を一層充実させると共に、皆様からのご意見やご提案を積極的に取り入れていく所存です。微力ではございますが全力を尽くして参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

総 務



青柳 優子氏

今年度より総務を担当いたします。次年度4月からの会期開始変更に伴い、今年度も変則的なスケジュールとなります。会員の皆さまの学会活動を支援できるよう、事務局対応、HP管理などを実施してまいります。事務局は引き続き、東京工科大学鎌田キャンパスです。どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員



野澤 美江子氏

今年より編集委員会を担当します。皆様が行った研究や実践を論文として形にすることはとても意義あることです。生殖看護に携わる皆様に知識と勇気を与え、広く活用していただき看護の質の向上につながるよう努めてまいります。

実践開発委員



小松原 千曉氏

引き続き実践開発委員を担当し、生殖看護に携わる看護職の皆様が質の高い看護実践を行えるよう尽力致します。また、オンライン交流会にて臨床の悩みや困りごとなど一緒に考え解決するサポートもさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員



朝澤 恭子氏

今年度から広報委員を務めさせていただきます。会員の皆様にニュースレターの発行を通して情報提供し、共有していただけるよう尽力します。関連学会等への広報活動により、会員数の増加を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

監 事



森 明子氏

ベテランの森恵美先生に学びつつ、一緒に監事を務めさせていただきます。ポストコロナ時代の今、世界も日本も社会経済状況は不安と緊張が続いています。そのような中で、生殖医療・生殖看護を必要とする人々にどう寄り添うべきか、会員の皆様とともに学会活動を通じ、看護の質の向上と発展を目指したいと思います。

監 事



森 恵美氏

前期に引き続き学会運営の監査等を担当させていただきます。日本生殖看護学会の発展と若手研究者・看護実践者の育成等を考えながら、本役制を務めさせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。

第22回 日本生殖看護学会学術集会 報告

「生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョン

ー多様化する家族形成を考えるー」

学術集会長 林はるみ

去る9月22日(日)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて第22回学術集会を開催しました。9月21日(土)は学術集会前日セミナーを行い、現地参加やオンデマンドにより計342名(会員147名、非会員163名、学生32名)に参加していただきました。ご参加くださいました皆様には心より御礼申し上げます。

本学術集会のテーマは「生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョンー多様化する家族形成を考えるー」としました。学術集会前日セミナーでは、高井ゆと里氏より「看護職が知っておきたいトランスジェンダー入門」、岩瀬 明氏より「看護職が知っておきたいAMHのはなし」についてご講演いただきました。学術集会の教育講演では、柘植あづみ氏より「生殖技術と親になることー配偶子提供をめぐるー」をご講演いただきました。ランチョンセミナーでは、「不妊カップルにとって最適な治療環境を再考する」をテーマに、齊藤秀和氏、西岡有可氏にご講演いただきました。スポンサードセミナーでは、「働く女性の健康課題における大規模調査を踏まえた支援ーオンラインサポートを通じて民間企業と看護をつなぐー」をテーマに、吉田穂波氏、石川勇介氏よりご講演いただきました。シンポジウムでは、「多様化する家族形成と支援のあり方」をテーマに、なかさとみ氏、森分純子氏、杉本公平氏、才村真理氏よりご講演いただきました。一般演題は11題(口演5題、ポスター6題)の発表があり、大変貴重で有意義なご発表をしていただきました。配偶子提供に関わる内容を多く含む学術集会でしたが、生殖技術の発展は今後どのような課題と可能性をもたらすのかという問いは、生殖看護のあり方にも通ずるもので、今後もっと議論していく必要があるテーマだと感じました。

お陰様で、学術集会および前日セミナーともに大変好評であり、参加目的を達成できたとの回答が98.3%に上りました。当日は、会場で機器トラブルがあり、大変ご迷惑をおかけいたしました。そのような中、実行委員、運営スタッフの皆様には臨機応変にご対応いただき大変心強く思いました。ほぼ初対面にもかかわらず素晴らしい団結力に感動いたしました。

最後に、第22回学術集会の準備、運営等にお力添えを賜りましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

第22回 日本生殖看護学会学術集会演題発表優秀賞を受賞して

湘南鎌倉医療大学看護学部 森 明子 西俣 安希子 高畑 香織 蛭田 明子
湘南鎌倉医療大学大学院博士前期課程 宮本 裕美子

子宮内膜症は現代の女性の妊孕性と関わりの深い重要な疾患です。思春期女性の月経困難症は将来の子宮内膜症のリスク因子であり、また、月経困難症状をもつ女性の中にはすでに子宮内膜症を発症している人もいることが指摘されています。早期発見・発症予防・早期治療開始につなげたいとこの研究に取り組みました。これらの障壁となっている背景要因について、養護教諭への量的・質的調査を通じて明らかにしたことをさらなる研究につなげていきたいと思ひます。この受賞を励みに今後も尽力していきたいと思ひます。ありがとうございました。

武蔵野大学看護学部 坂上 明子 青木 恭子
株式会社ファミワン 西岡 有可 小林 文香
前株式会社ファミワン 田中 梓

このたびは、貴重な賞をいただきまして、誠にありがとうございました。いまやプレコンセプションケアは、「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」や「こども未来戦略方針」にも取り上げられている重要なケアです。しかし、まだまだ十分に周知されていないと感じております。この賞を励みに、今後も、妊娠を希望している人だけでなく、前思春期以降すべての個人、カップルにとって重要なケアであることの啓発に努めて参りたいと存じます。最後になりましたが、動画作成にご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げます。

IVF大阪クリニック 桑原 愛

この度は、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思ひます。今回は「不妊治療中における男性のみの患者会開催の実践報告」というテーマで発表をさせていただきました。普段より患者会を開催していますが、女性がメインのテーマであることが多く男性のみにスポットを当てた患者会を開催したのは初めてでした。会を実際に開催したことによって男性も積極的に会に参加したいという意欲があることや、女性の気持ちを知った上でサポートをしたいという気持ちがあることがわかり、今後も男性のみの患者会を継続していく必要があることを実感しました。今回の発表で多くのことを学び得ることができたのは研究協力者の皆様をはじめ、職場のスタッフの皆様、ご指導賜りました先生方のお陰です。ありがとうございました。

2024年度 日本生殖看護学会 総会議事録

日時：2024年9月22日（日）13：40～14：20

会場：昌賢学園まえばしホール（小ホール）：前橋市民文化会館

出席者：会場出席者24名、委任状147通（会則18条学会員351名の10分の1以上の出席により総会成立）

議長：林 はるみ氏（第22回学術集会長）

【報告事項】

1. 理事会報告（上澤理事長）：2023年度開催の理事会4回および臨時理事会9回の報告・審議事項概要
 2. 総務（事務局）報告（森明理事）：2024年7月19日現在、会員数351名
 3. 事業報告（2023年9月1日～2024年8月31日）
 - 1) 将来構想の検討報告（上澤理事長）：2つの短期目標を挙げての活動及び検討
 - 2) 常任委員会
 - (1)実践開発委員会（上澤理事長）：不妊症看護CNの相談業務派遣、不妊症看護CNメーリングリスト運営、オンライン交流会開催
 - (2)教育推進委員会（野澤理事）：2023年度CNポストコース研修会の企画・運営、2024年度地区実践セミナーの助成期間及び応募期間変更の検討、生殖看護実践セミナーの支援・助成の周知
 - (3)広報委員会（崎山理事）：NL66～68号の企画・編集・発行・発送、NLアーカイブのHPへの掲載、会員メーリングリストの作成、学会リーフレットの作成・送付
 - (4)編集委員会（實崎理事）：学会誌第21巻第1号の編集・発行、HP会員マイページへの学会誌PDFの掲載
 - (5)将来検討委員会（坂上副理事長）：国内外の情報収集と発信、研究助成2件の応募申請あり、審査の結果、2件採択。研究助成に関する研修会の企画・運営、CN勉強会の開催支援
 - 3) 特別委員会
 - (1)看保連対応ワーキング（森明理事）：令和8年度診療報酬改定に向けた意向調査の提出、看保連社員総会、看保連情報交換会、看保連看護技術検討会等の会議・研修会への参加
 - (2)健やか親子21（第2次）ワーキング（坂上副理事長）：健やか親子21推進協議会第22回健やか親子21推進本部総会への参加・情報収集
4. 第23回学術集会について（上澤理事長）：第23回学術集会大会長の報告
5. 2024（令和6～8）年度理事・監事選挙結果（青木選挙管理委員会委員長）：2024年度の理事・監事の選挙

結果の報告

【審議事項】

1. 会則第5条・第24条・附則の改正について（上澤理事長）：会則第5条・第24条・附則の改正
2. 2023（令和5）年度収支決算ならびに会計監査（清水理事、上澤理事長）：2023（令和5）年度の収支決算（案）の報告。上澤理事長代読により2022（令和5）年度収支決算の監査執行の報告。学会設立20周年記念事業の生殖看護テキストの出版に関する収支報告

3. 2024（令和6）年度事業計画案（上澤理事長）

- 1) 学会の将来構想の検討：将来構想をふまえた3点の短期目標の提示
 - 2) 総務（総務理事）：会員管理とHP運営・管理。関連団体・機関との調整。理事・監事選挙管理に関する事務連絡等
 - 3) 常任委員会
 - (1)実践開発委員会：相談員派遣業務、生殖看護地区実践セミナーへの協力、CNメーリングリストの運営・管理、オンライン交流会の企画・運営、講演依頼への対応等
 - (2)教育推進委員会：生殖看護地区実践セミナーの支援・助成、看護実践セミナー・CNポストコース開催の企画・運営等
 - (3)広報委員会：NLの企画・編集および発行、HP・メーリングリストの管理・運営、学会活動の発信等
 - (4)編集委員会：投稿原稿の受付・査読依頼・採否決定、J-STAGEへの申込。オンライン投稿の管理・運営。学会誌第22巻第1号発行スケジュール等
 - (5)将来検討委員会：2025年度及び2026年度研究助成の募集と審査。研究学習会の開催。good practiceに対する活動支援の検討、国内外の情報収集と発信
 - 4) 特別委員会
 - (1)看保連ワーキンググループ：看保連の総会、臨時総会、委員会等への出席。看護上の問題・問題点の集約、関連多職種・他学会との連携、エビデンス構築の推進
 - (2)健やか親子21（第2次）ワーキング：健やか親子21推進に関する様々な情報の収集、当学会ならではの役割遂行
 - (3)オンライン学習支援システム検討ワーキング：会員の生殖看護の質および研究力向上を目的としたオンライン学習支援システムの構築
4. 2024（令和6）年度及び2025（令和7）年度収支予算案（清水理事）：会計年度の変更に伴う2024（令和6）年度会期7か月間を説明。2024（令和6）年度及び2025（令和7）年度の収支予算案の提示報告事項1～5、審議事項1～4は賛成多数で承認された

<学会からのお知らせ>

1. 第23回学術集会の告知（名桜大学 教授 阿部正子氏 次年度学術集会長）ならびに阿部氏より第23回学術集会の日程と場所の報告。
日程：2025年10月12日（日）・13日（月）
会場：ホテルコレクティブ那覇（沖縄県那覇市）
2. 新理事長の紹介と挨拶（坂上明子氏）

2024 年度・2025 年度 日本生殖看護学会 収支予算書

収入の部

(単位：円)

大 科 目	小 科 目	詳細	2024年9月1日～ 2025年3月31日	2025年4月1日～ 2026年3月31日
会費収入	年 会 費	2024年度 会員345名×5,000円・賛助会員2名×6,000円 2025年度 会員345名×8,000円 賛助会員2名×10,000円	1,737,000	2,780,000
	研修会収入	地区セミナー・看護実践セミナー・ポストコース 会員1,000円×40人、非会員3,000円×10人	70,000	70,000
繰 越 金	2023年・2024年繰越金		10,539,767	10,189,767
総収入合計 (A)			12,346,767	13,039,767

支出の部

(単位：円)

科 目	小 科 目	詳細	2024年9月1日～ 2025年3月31日	2025年4月1日～ 2026年3月31日
会 議 費	理事会等会議費	年間ZOOM料金・理事会等会議費	[30,000] 30,000	[100,000] 100,000
事 業 費	広報事業	ニュースレター発行・リーフレット印刷	[1,517,000] 325,000	[2,170,000] 475,000
	教育推進事業	地区セミナー・看護実践セミナー・ポストコース開催	240,000	360,000
	実践開発事業	Fine祭り相談員の派遣	30,000	30,000
	学会誌編集事業	学会誌作成・発送	20,000	310,000
	将来検討事業	研究学習会・研究助成2件含む	402,000	495,000
	学術集会補助費	第23回・第24回学術集会補助費	500,000	500,000
事 務 費	人件費	アルバイト (pc入力)	[610,000] 250,000	[750,000] 350,000
	通信費	各学会・看護系大学への広報・wifi料金	60,000	100,000
	消耗品費	インクカートリッジ・ファイル	100,000	100,000
	HP管理料	サーバー・ドメイン・操作サポート料金等	200,000	200,000
団体登録料	日本看護系学会協議会	日本看護系学会協議会	[0] 0	[160,000] 80,000
	看護系学会等社会保険連合	看護系学会等社会保険連合	0	70,000
	日本カウンセリング学会	日本カウンセリング学会	0	10,000
ワーキング グループ活動	オンライン学習支援検討事業	オンライン学習支援システム (講師料)	0	198,000
総計 (B)			2,157,000	3,378,000
繰越金 (A-B) / 予備費			10,189,767	9,661,767

学会誌がいよいよ次号からオンライン化!!

新しくなった学会誌に投稿しよう！

日本生殖看護学会誌 (第21巻第1号) への投稿締切:2024年12月13日(金)

皆様が行った研究や実践を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護職の皆様に知識を与え、広く活用されることにより看護の質の向上につながります。研究に協力してくださった方々へ感謝の気持ちを示すことにもなります。次号からオンラインジャーナルになることで、さらに活用機会が拡大することが期待されます。

学術集会での発表の有無にかかわらず、ぜひ投稿してみませんか？

投稿に関する詳細は、学会ホームページの「論文投稿規定」をご確認ください。

たくさんのご投稿をお待ちしております！

<原稿の送付先・ご連絡先>

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

東京工科大学医療保健学部看護学科 野澤 美江子

E-mail nozawa@stf.teu.ac.jp

これから行われる学術集会・研修会情報(2024年11月～2025年2月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会等HP／運営事務局
11月	10日(日)	日本女性医学会学術集会(第39回)	ライトキューブ宇都宮 (栃木県宇都宮市)	https://www.congre.co.jp/jmwh39/ 【運営事務局】 株式会社コングレ 東北支社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング TEL: 022-723-3211 FAX: 022-723-3210 E-mail: jmwh39@congre.co.jp
	14日(木) ～15日(金)	日本生殖医学会学術講演会(第69回) 「不育症から学ぶ」	ポートメッセなごや (愛知県名古屋市)	日本生殖医学会学術講演会(第69回)
	14日(木)	生殖医療コーディネーター講習会	ポートメッセなごや (愛知県名古屋市)	http://www.jsrm.or.jp/conference/index.html 【運営事務局】 日本コンベンションサービスク株式会社 中部支社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6階 TEL: 052-218-5822 FAX: 052-218-5823 E-mail: 69jsrm@convention.co.jp
12月	7日(土) ～8日(日)	日本看護科学学会学術集会 「格差社会への看護科学の挑戦 想像を超えた未来を創造する」	熊本城ホール (熊本県熊本市)	https://jans44.org/index.html 【運営事務局】 (株)コンベンションサポート九州 〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 7F-F TEL: 096-373-9188 FAX: 096-373-9191 E-mail: jans44@higo.co.jp
2月	16日(日)	日本生殖心理学会 「ともに支える、ともに学ぶ」	都市センターホテル 「コスモスホテル」 (東京都)	https://www.jsrp.org/notice/ 【運営事務局】 株式会社ヒューマンリプロ・K 〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目19-20 TEL: 045-620-7560 FAX: 045-620-7563 E-mail: regi@hrepk.com
	22日(土) ～23日(日)	日本がん・生殖医療学会学術集会 (15回) 「がん・生殖医療の多様性と社会貢献」	大阪中央会堂 (大阪市)	https://www.j-sfp.org/medical/ 【運営事務局】 株式会社ヒューマンリプロ・K 〒226-0003 神奈川県横浜市緑区鴨居6-19-20

不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.26

『朝食摂取の重要性』

東京医科大学病院 林崎優子

聖路加6期生の林崎です。慈恵医大病院の稲川さんからバトンを引き継ぎました。私は現在興味を持っている生活習慣と治療成績についてお話しします。

私の勤務先は大学病院ということもあり様々な論文が発表されていますが、私も研究に携わった朝食欠食と生殖補助医療の治療成績に関する論文についてご紹介します。この研究は、『毎日朝食を摂取する人は、そうでない人と比較してART治療後の生産率が高く、流産率が低い』ことが明らかになり、オランダの栄養学専門誌『Nutrition』に掲載されました。朝食欠食による月経困難症や月経不順、妊娠後の糖尿病・高血圧に影響するなど様々な研究が発表されていますが、生殖補助医療の治療成績にも影響することが分かりました。朝食には体内時計を調整する働きや、血糖値の変動を緩やかにするなど多くのメリットがあります。このことから、朝食摂取の重要性を多くの方に、特に若い世代に伝えたいと考えます。

私事ですが、令和7年1月から、転職することとなりました。転職後も生活習慣と生殖補助医療の治療成績について、これまでの経験やデータを基に患者さんにご説明出来るよう努めていこうと思います。

バトンは、横浜市立大学附属市民総合医療センターの星さんに繋ぎます。

第14回 生殖看護関西地区実践セミナー報告

天の川レディースクリニック 野中綾子 IVF 大阪クリニック 下西祥子
越田クリニック 篠丸美嘉 越田クリニック 藤島由美子

2024年9月8日、TKPガーデンシティ東梅田にて「不妊に悩むカップルとともに～不妊治療から治療終結までの意思決定支援～」をテーマに実践セミナーを開催しました。

獨協医科大学埼玉医療センターリプロダクションセンター長の杉本公平先生による「不妊治療におけるコミュニケーションスキル」と、英ウィメンズクリニック・大阪信愛学院大学生殖看護認定看護師教育研修センター専任教員の小松原千曉先生による「治療終結の可能性も視野にいたれた看護支援」のテーマでご講演をいただきました。

参加人数は52名で、看護職のほかには培養士・看護アシスタント・助成金担当の行政の方など、多職種の方がテーマへの関心から参加されていました。

講義では具体的な事例を通して、グリーフケアやスピリチュアルケアについて学び、支援するためのコミュニケーションスキルの重要性を認識しました。また治療終結を迎えるカップルが感じる悲しみや喪失感に対する悲哀の作業への看護師の関わりにより、その人らしく納得のいく選択ができる意思決定につながることを学びました。

参加者のアンケートから「生殖医療の実際を知ることができた」「具体的な内容で勉強になった」「他施設の取り組みを知ることが出来て有意義だった」など、多くの肯定的な感想が寄せられ、参加者全員から「明日からの実践にいかせる内容だった」との感想をいただきました。またグループディスカッションを通じて他施設のスタッフとの意見交換ができたことが好評でした。

今回のセミナーで講師を引き受けてくださった杉本公平先生、小松原千曉先生、そして共催いただいたメルクバイオファーマ株式会社の皆様に心より感謝申し上げます。

理事会報告

第8回臨時(書面)理事会

日 時: 2024年7月5日(金)

場 所: 書面による

出席者: 上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 奥島, 中村, 野澤, 小松原, 村本, 森恵, 崎山

【審議事項】

- 入会審査: 4名の入会を承認

第3回理事会

日 時: 2024年8月10日(土) 18:00 ~ 20:30

方 法: Zoom

出席者: 上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 中村, 野澤, 小松原, 村本, 森恵, 崎山
欠席者: 奥島

【報告事項】

- 林はるみ学術集会長より、第22回日本生殖看護学会学術集会進捗報告
- 青木恭子選挙管理委員長より、日本生殖看護学会役員選挙結果について
- 教育推進委員会: 野澤美江子理事より、ポストコース研修会及び地区実践セミナー助成金申請状況について
- 広報委員会: 崎山貴代理事より、ニュースレター No.68の発行について
- 編集委員会: 實崎美奈理事より、学会誌21巻1号を6月に発行し、PDFを会員マイページにアップロードしたこと、J-STAGEの契約準備を進めていることを報告
- 将来検討委員会: 坂上明子副理事長より、将来検討委員会主催研修会について
- 実践開発委員会: 小松原千曉理事より、Fine祭り2024CN派遣及びオンライン交流会について
- 看護連対WG: 森明子理事より、2024年度定時社員総会(6月28日)及び情報交換会参加報告
- 健やか親子21推進協議会WG: なし
- 上澤悦子理事長より、日本生殖看護学会20周年記念事業 生殖看護ガイドブックの販売実績について
- 総務: 森明子理事より、日本看護学会協議会社員総会(6月16日)参加報告
- その他 上澤悦子理事長より、第23回日本生殖看護学会学術集会開催(案)について

【審議事項】

- 会期変更に伴う事業計画と予算立て及び2024年度以降の総会の開催方法及び年会費について
- HPサポートにおけるファミワンの契約について: 依頼状況を確認し、窓口等整理することとした
- 2024年度研究助成募集要項の修正について: 会期変更に伴う研究助成期間の変更が承認
- 2024年度研究助成選考結果: 2名の応募があり選考委員3名で審査した結果、2名を選考した
- 学術集会での演題登録: 次年度より論文投稿済みでも学術集会での発表は未発表であれば認めることとした
- 名誉会員について: 選考規程及び手続、会員記を決定し、会則変更することとなった
- 2023年度総会要綱について: 各担当箇所の確認を行った
- 2023年度決算について: 微細な修正事項の確認後、決算書を承認
- 総会委任状等(はがき)について検討し修正事項の確認後、承認。次回総会よりはがきの使用からマイページでの運用への移行を検討することとなった
- 次期役員顔合せ会について: 第4回理事会後に開催を承認
- 入会審査: 1名の入会を承認

第9回臨時(Web)理事会

日 時: 2024年9月2日(月) 18:00 ~ 19:11

方 法: Zoom

出席者: 上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 中村, 野澤, 小松原, 森恵, 崎山
欠席者: 奥島, 村本

【報告事項】

- 理事長推薦理事について: 2名から内諾があったとの報告があった
- その他: 新役員顔合せ会について

【審議事項】

- 2024年度及び2025年度事業計画・予算案について:
- 2024年度及び2025年度 移行期の行程について: 2025年5月に2024年度の事業及び決算報告をHPマイページに掲載すること、2026年度中に次期選挙を行うことを確認、これらを行程表に加筆し、他は表通りに承認
- 2024年総会要綱について: 前回からの修正加筆について確認、次回最終確認の予定
- 研究助成内規の改訂について: 第5条2の研究助成審査会の委員の構成について確認を行い、承認
- 名誉会員の推薦について: 1名の推薦があり、承認
- 入会審査: 希望者2名の入会を承認

第4回理事会

日 時: 2024年9月21日(土) 17:30 ~ 18:50

場 所: 群馬県前橋市 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)4階 第2会議室及びZoom

出席者: 上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 中村, 野澤, 森恵, 崎山

【報告事項】

- 林はるみ学術集会長より、第22回日本生殖看護学会学術集会進捗報告
- その他 関西地区の看護実践セミナーの終了報告

【審議事項】

- 2023年度総会要綱案について、最終の確認を行い、一部表記の誤りを修正することとした
- 2024・2025年度予算案について、最終の確認を行った
- 総会の進行について、最終の確認を行い、当日欠席理事担当事業及び監事の報告は上澤悦子理事長が代理を務めることになった。13:50からの審議事項の4.収支予算案の表記に2025(令和7)年度分が抜けていたため、加筆することとした
- 入会・退会審査: 1名の入会及び2023年度退会22名、会費未納2年のため強制退会15名を承認した
- その他 特になし

次期役員顔合わせ会(準備会)

日 時: 2024年9月21日(土) 18:36 ~ 19:29

場 所: 昌賢学園まえばしホール(前橋文化会館)4階

第2会議室@対面 & Web会議Zoom

出席者: 青柳, 朝澤, 上澤, 坂上, 清水, 西岡, 野澤, 林, 森明

オンライン参加: 崎山, 森恵

欠席者: 小松原

- 本学会会則: 改正予定事項
- 理事会および理事の役割について
- 次期理事長・副理事長の互選
次期理事長は坂上理事、副理事長に上澤理事が推薦され承認された
- 委員会分掌等役割分担・引き継ぎについて

次期担当理事決定

教育推進委員会 : 崎山理事、上澤理事
広報委員会 : 朝澤_新理事、西岡_新理事
実践開発委員会 : 小松原理事
将来検討委員会 : 林_新理事、坂上理事
編集委員会 : 野澤理事
総務 : 青柳_新理事
会計 : 清水理事
健やか親子21WG : 林_新理事
看護連WG : 森明_新理事、清水理事
オンライン学習支援システム検討WG : 上澤理事、小松原理事、西岡_新理事

- 会期及び次期理事会年間開催予定について
- その他

事務局からのお知らせ

1. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで、気軽にご連絡ください。
2. 学会の年会費は2024年度(2024年9月1日～2025年3月31日)に限り、期間が短くなるため5,000円です(2025年度《2025年4月1日～2026年3月31日》以降は8,000円)。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
3. 異動・転居された方は必ずホームページのマイページから住所・勤務先・メールアドレスを変更してください。変更が出来ない方は事務局にご連絡ください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌、その他情報をお届けすることが出来ませんので、ご協力お願い申し上げます。
4. 会員数320名(2024年11月1日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いく

ださい。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。また、ホームページ画面から入会申込みができます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

東京工科大学医療保健学部看護学科内

E-mail: jsfnjimu@gmail.com

会費納入先

ホームページ <https://jsfn.org>

ゆうちょ銀行(振替)

口座番号: 00170-2-333413

加入者名: 日本生殖看護学会

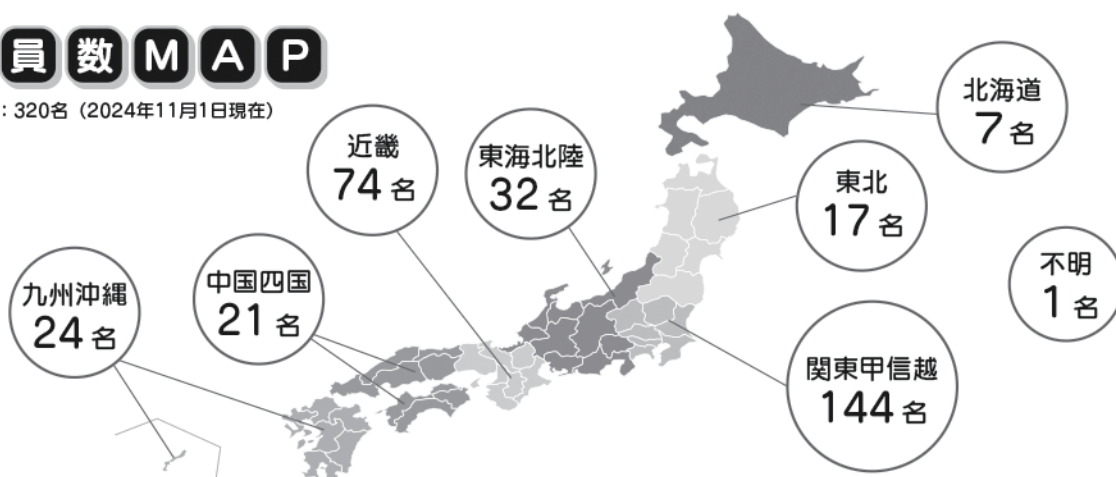
ゆうちょ銀行(振込)

〇一九(ゼロイチキョウ)店(019) 当座0333413

口座名義: 日本生殖看護学会

会員数MAP

会員数: 320名 (2024年11月1日現在)



原稿を募集しています！

ニュースレター第70号の原稿締切日は、2025年1月20日(月)を予定しています。

会員の皆さまにお知らせしたい情報などがございましたら、

広報委員(西岡: yuka.kawasaki13@gmail.com)(朝澤: k-asazawa@thcu.ac.jp)までご相談ください。

編集後記

ニュースレター第69号より環境への配慮の高まりから、従来発送しておりましたニュースレターを電子化する運びとなりました。会員の皆様におかれましては、より早く確実に会員マイページからニュースレターをご覧いただけるほか、いつでも閲覧・ダウンロードできるようになります。お手数をおかけいたしまして誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

9月の学術集会は盛会でした。医療・看護・教育に携わる専門家のオリジナリティと新規性に満ちた講演や発表で、充実した時間を過ごせました。その思いを大事にして、ニュースレターも会員の皆様に有益な情報を提供できるよう、お役に立ちたいと存じます。

広報委員会 朝澤恭子、西岡有可